

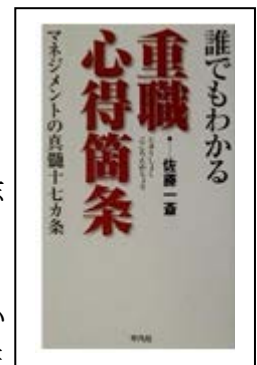
「そう言えば」という発想法

1. フト、思い出す

私は大阪府中小企業家同友会の阿倍野住吉支部に所属しています。会友に西口様がおられ私より2才若い方で非常に柔軟な思考回路をもっておられる素晴らしい方です。一般的に、加齢とともに保守的傾向が強まるのですが、彼はスズキのジムニーを乗り回して全国各地へ旅行されたり、LINEやZOOMそしてインスタグラム・・・とSNS関連のアプリにも積極的な方です。また、交友関係も幅広い方でいろんな団体の活動にも積極的に参加されています。私はブログで「笑ろてなはれや〜」(<http://amiami.txt-nifty.com/blog/2021/07/post-ef36f5.html>)の中でもご紹介していますが西口様から「雑談会をオンラインで開催する」というお誘いを受けて参加しました。

オンライン会はZOOMでしたが、事前にLINEで自己紹介を交換するなど素晴らしいコーディネーターぶりを発揮されました。雑談会は「雑談、そう言えば」という名称で今回は第1回でテーマは「座右の銘」で約90分という具合でした。「類は友を呼ぶ」と言いますが、西口さんは70才なので参加者の多くは70才前後、最高齢は87才、若い方は50台という分布でした。流石に年配者なので皆さん素晴らしい「座右の銘」をご披露されました。私は、禅語の「一日不作、一日不食」と話しました。経営コンサルタントを始める前に禅語の勉強したのです。固い性格なので「一日不作、一日不食」が心に響いたのです。

しかし、皆さんの話を聞いている内に「そう言えば」と思いフト佐藤一斎の「重職心得箇条」(右掲)を思い出したのです。小泉元首相が当時の田中真紀子外務大臣が役人とうまく行かない様子を見て贈ったというものです。幕末の小藩の事情を書いた名著ですが、中に「他藩の人材を羨むな、小藩は小藩なりの人材がいる」と諫めた箇条があるのです。この言葉は経営コンサルタントを志した時に大いに役立った言葉でした。全部で17箇条が書かれてあり、部下をもつ方には目から鱗が落ちる事が書かれていますのでWebでも取得できますのでお薦めいたします。私にとって「座右の書」って存在で人との接し方を書いた名著と確信しています。「論語と算盤」も良いですが、ぜひ、機会があれば読んで頂きたいと思います。



2. フト、発想できる機会を持つ

仕事に夢中になっていると視野が狭くなります。集中していても思考回路が固まってしまったり行き詰まる事がありますが、この状態で幾ら考えても閃かないのです。東京の出版社から依頼原稿を書く機会も多いです。与えられたテーマで記事を書くのですが、事前にストーリーを出しているのですが、その通りに展開しても捗らない時が多いのです。締切が決まっていますので、余裕をもって書いていますが、行き詰った時にはあせりを感じるのです。しかし、記事を書く以外の用事もあるので、例えば、切手を買いに近所の郵便局に行くとパッと閃いて足早に帰社して記事を仕上げる事が度々ありました。

このように、目の前のことに縛られていると発想が固まってしまうので、場を変えることが重要です。うちの会社は3時におやつタイムを作っていますが、集中から解き放して皆で雑談する事で思考回路が柔軟になるようで次の集中にヒントが出てきて助かる事が多いです。人の集中力は2時間程度と言われているので、良いタイミングのおやつタイムになっています。おやつで口を開き動かす事で気分転換になっていると確信しています。確かに、個人差があるので3時のおやつタイムで縛るのは良くないかも知れませんが、続けていると皆のリズムが同じようになって来るのです。

このように、「僅か15分、されど15分」という具合に貴重な風土になっています。今の仕事から一端離れることでリフレッシュされて英気がみなぎるのです。そして、雑談の中でフト閃くことがあるので有意義な時間になっています。

3. 「雑談力」の功罪

「女3人寄ったら姦しい」と言いますが、女の方の会話を聞いていると突然「そう言えば」と別の話題が飛び出して延々と会話が続く傾向があります。女の方たちは何かを決めようとしているのではなく、お互いの雑談で関係性を保とうとされるようです。私が見ている限り、決して深めようとはしていないように思います。確かに、雑談力でお互いの距離間を一定にする効果があると確信します。

しかし、ビジネス時の雑談力は少し違ってきます。「時は金なり」で面談時間が限られているケースが多いのです。限られた時間で相手との距離間を一定にする雑談のコツが必要です。多くは相手を気遣う声掛けから切り出して、口を開いて心をオープンにする方法が一般的です。自分の事を気遣ってくれる事が基本で、私は社員の家族の事を時々聞くようにしています。直接、本人の事を聞くのはプライバシーの問題もあるので、家族の様子、特に健康を聞くようにしています。

ところが、雑談ばかりを延々とする方がいらっしゃいます。お互いに貴重な時間という事を知って欲しいのですが、やっぱり、お客様の場合はヒタスラ聞くように努めています。自分しか見えない方なので、話も自分都合な話ばかりです。これでは、ビジネスとして進展する事が期待できないので、非常に忍耐ばかりで疲れます。結果、ビジネスがうまく行かないという事で堂々巡りを繰り返しているのです。

KYって言いますが、空気が読めない方が突拍子もない発言して場がシラケる事がありますが、この突拍子もない発言で次のステージに進める効果もあります。しかし、延々とした雑談では、一方的な押し付けなので聞く方は「行」でしかないのです。生返事も多くなりますが、気づいてもらえない事が多く残念ですが時間をムダに流しています。この「罪」を知って欲しいと思います。

4. メモ帳に残す

話題が楽しくても実る物でなくては無意味な時間になっています。「そう言えば」と発散すると新しい事がドンドン浮かんで来ます。次から次へと浮かぶ新しい事の中から一つに集約する事が大切です。何も決まらない会話では「一体、なにやったのか」と残念に思います。確かに、何もかもがすぐに着手できる訳ではなく、機が熟さないという事もあるので新しい事が浮かんだ時に記録しておき時期を待つことが大切です。

私は、新しい事を課題として記録しています。毎年、年末になったら「回顧と反省」で今年着手した事と新規に発生した課題をリストアップしています。そして、「展望と課題」を年初に掲げています。人の発想力は個人では狭いもので多くの人との交わりの中で発想することが大切です。そういう意味では中小企業家同友会に所属していますが、このような異業種交流会から学ぶ事や、メールなどで得る情報も大いに参考になっています。

「縁・運・つき」と言いますが、オンライン時代なので「縁」の形も変わって行きます。ユーチューバーという存在が出て来っていますが、フォロワーが百万人超える方の人気や収入が並大抵ではありません。かつてはブロガーと言われましたが、顔が見える動画で人気を博しているのです。この方たちの「そう言えば」という発信は影響力があります。うかつな発信では炎上という状態になるそうです。隠れた個人の声が反映される時代なのです。私は、メルマガで毎週発信していますが、炎上しないように発言を心がけたいと思っています。

思い付きの「そう言えば」から新しい事が生まれるのも事実です。発散をうまく捉えてリスト化してストックする事が大切です。機が熟す時が来るのですが、リスト化で記憶されているのといないのでは次の展開に大きな差が生まれます。今は、スマホでもメモ帳機能が充実しているので忘れないうちに記録する習慣が必要です。思い付きは忘れやすいので必須の習慣です。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryo.html> にあります！】